

キャラクター名  
ミル・レニアス

プレイヤー名

種族	レプラカーン	種族特徴	暗視、見えざる手、姿なき職人		
生まれ	魔動機師	性別	女	年齢	15
冒険者Lv	10	経歴	書き出し部分を暗唱できる書物がいくつかある		
経験点	110		旅をしたことがない 物心がついた時には独りだった		

技	12	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス
		器用度	12	10		34 + 2	6
体	4	敏捷度	5	2		19	3
		筋力	8	3		15	2
		生命力	9	4		17	2
心	7	知力	11	11		29 + 2	5
		精神力	6	5		18	3

技能	Lv.	技能	Lv.
シューター	5	アーティザン	2
マジテック	10		
セージ	7		
エンハンサー	6		
バード	1		
アルケミスト	1		

戦闘特技			
鋭い目	2120 p		p
弱点看破	2121 p		p
両手利き	1B32 p		p
魔法誘導	1B32 p		p
鷹の目	1B30 p		p
魔法収束	1B39 p		p
魔法制御	1B32 p		p
	p		p
	p		p
	p		p

言語	会話	読文
巨人語		○
交易共通語	○	○
ドラゴン語	○	
ドレイク語		○
汎用蛮族語	○	○
魔神語	○	
魔動機文明語	○	○
魔法文明語	○	
妖精語	○	

練技/呪歌/騎芸/賦術	
キャッツアイ	
ストロングブラッド	
アンチボディ	
メディテーション	
デーモンフィンガー	
スフィンクスノレッジ	
モラル	
パラライズミスト	
誤射防止	
魔物知識判定	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	5	11	8	7

鎧と盾	必要			
	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ハードレザ	14		4
盾				
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)				
回避技能	合計値			0 4

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3 4 5 6 7 8 9 10 11 12													
								3	4	5	6	7	8	9	10	11	12				
デリンジャー+1	1h		2	2d+ 13		15															
デリンジャー+1	1h		2	2d+ 13		15															
デリンジャー			1	2d+ 12		15															
デリンジャー			1	2d+ 12		15															
サーペンタインガン	1H	1		2d+ 11	11	15															
射程10m、装填3 活性弾																					
サーペンタインガン	1H	1		2d+ 11	11	15															
射程10m、装填3 活性弾																					
ジェザイル+1	2H	10	1	2d+ 12	10	15															
射程50m、装填3、ダメージ+1																					

制限移動	通常移動	全力移動
3 m	19 m	57 m

回避	防護点
2d+ 0	4

HP
49

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
魔動機術	10	15			

魔物知識/弱点	先制力
2d+ 15	2d+ 0

生命抵抗	精神抵抗
2d+ 12	2d+ 13

MP
50

装備品	説明
頭 とんがり帽子	
耳 ディスプレイサ-ガジェット	インテリアニマルサック
顔 学者の眼鏡	
首 ポーションインジェクター	
背中 マギスフィア大	
右手 器用腕輪	
腰 フローティングスフィア大	OP:ローダー、エフェバレ、グレネード
足 パレットスリンガー	弾丸*12
その他 知力腕輪	

装備品	説明
左手 器用腕輪	
マギスフィア大	OP:ターゲットサイト、エアタイト、レジボム

その他メモ	自動失敗
「正射必中! 当ててみせます!」	チェック
[設定]	□□□□⑤
物心ついた時にはルキスラの魔動機技術者の家で従者として生活していたレプラカーン。	□□□□⑩
自分以外に家族はおらず、その家主の家族からは妹同然に可愛がられて育つ。	□□□□⑮
本を読むことが好きで、家主の書齋で本を読むことが何よりも好きだった。	□□□□⑳
だが、年を経るにつれて自分のルーツへの興味が段々と勝るようになっていく。	□□□□㉑
養父へと聞いても得られる情報は少なく、だが一つだけわかったことがあった。	□□□□㉒
自分を見つけた時、首にはカプティ山脈で取れる木の葉がいくつもついていたこと。	□□□□㉓
自分のルーツはそちらにある、その手がかりを頼りに、ミルは家主の家を去った。	□□□□㉔
	□□□□㉕

